

**ミナトデバイスカンパニー、超高速自動プログラミングシステム「MK-2000」の販売開始**  
 ～ 従来機に比べて最大2倍以上(UPH2,000※)のスピードで高速搬送、書込みが可能 ～

ミナトホールディングス株式会社(本社:横浜市都筑区、代表取締役社長:若山 健彦、証券コード:6862)の社内カンパニーであるミナトデバイスカンパニーは、eMMC(NANDフラッシュメモリと制御回路からなる記憶装置)に超高速でデータ書込み搬送ができる自動プログラミングシステム「MK-2000」を本年12月より新たに販売開始いたします。

■外観写真



自動プログラミングシステム  
 「MK-2000」

■特長

① 8連ユニット搭載

特殊ユニット(8連ユニット)を搭載する事により、サイクル毎に最大64個のプログラミングが可能。当社製の既存デバイスプログラマ M416、M1950、M1896、M516(開発中)の同機種を2台搭載できます。

② 高水準の生産能力

4ヘッドのピックアップノズルを採用することで生産効率を大幅に向上させ、業界最速レベルのUPH 2,000※を達成しました。(※UPH:1時間あたりの搬送能力。)

③ 簡単ティーチング

CCDイメージセンサを搭載し、簡単にティーチング作業(プログラム作成)が可能に。また、フレキシブルに高さを調整できるソケット開閉バーにより、突然のeMMCの種類変更にも対応でき、ランニングコストを抑制します。

このほど新たに販売を開始する「MK-2000」は、本年12月に中国の機器メーカーへの納入が決定しており、当社は今後も自動プログラミングシステムの国内外での拡販に努めてまいります。

以上

— 本件に関するお問い合わせ先 —  
 ミナトホールディングス株式会社 広報マーケティンググループ 永島  
 TEL: 045-591-9228 www.minato.co.jp